

＜多治見空手道教室だより＞

R 1. 5. 18

4月で事務局は終わったものの、5月の少年大会が終わるまでは、時間に追われる生活が続いていましたが、多治見教室を代表して丈一郎に選手宣誓をお願いし、堂々と大きな声で立派な宣誓をしてくれ、最高学年の6年生で優勝と準優勝、団体優勝もしてくれ、形では文句なく岐阜県内で1番を勝ち取ってくれた生徒のお陰で、やっと気持ちが前向きになり、9月のマスターズの運営を成功させるまでは、何としても頑張ろうと言う決意をしています。

今日のお便りは5/5の全少予選と1週後のインターハイ予選について、結果を報告します。

記



丈一郎の宣誓

1. 岐阜県少年少女空手道選手権大会結果 5/5 (土) メモリアルで愛ドーム

【形】 小1男子：優勝＝磯貝英介：5-0、4-1、5-0、4-1で優勝。

2回戦＝佐々 楓：4-1、2回戦でまさかの2-3敗退。とても厳しい判定！

小2男子：優勝＝西川原利紅：4-1、5-0、5-0、5-0で優勝。

準優勝＝如中康佑：5-0、5-0、4-1、3-2、0-5で準優勝。

小3男子：3位＝浅井健琉：5-0、5-0、5-0、2-3で納得出来ないが、3決で勝って3位。

2回戦＝中山真一：5-0、2-3で敗退。小4女子：2回戦＝勝又歌音：5-0、0-5で敗退。

5年男子：2回戦＝前川源太：4-1、0-5で敗退。

2回戦＝磯貝大介：5-0、ベスト16でパッサイを打って失格。確認ミスで超悔しい！

小6男子：優勝＝浅井丈一郎：5-0、5-0、5-0、5-0、決勝は凜空に5-0で勝って優勝。

準優勝＝小坂凜空：5-0、4-1、3-2、3-2、決勝は丈一郎に負けて準優勝。

4位＝大竹優吾：5-0、3-2、3-2、5-0、0-5で負け、3決でも負けて4位。

ベスト8＝高内陸豊：3-2、5-0、2-3の敗退でベスト8。

小6女子：3位＝中山結衣：5-0、5-0、0-5で敗退し、3決で勝って3位。

【団体形】 優勝＝拳和会多治見：1回戦和道岐刑、決勝松涛連岐中に勝って2年連続優勝でした。

【形評価】 ベスト4までに多治見教室は8名入り1番、拳真館が5人で2番、和道岐刑が4人で3番で、団体でも優勝出来たので、とても良かったです。

【組手】 小1男子：1回戦＝磯貝英介0-6。佐々 楓：1-3。小2男子：1回戦＝西川原利紅。

小3男子：2回戦＝浅井健琉：0-3。小5男子：3回戦＝磯貝大介：0-6 (ベスト16)。

小6男子：1回戦：高内陸豊：2-3。浅井丈一郎：5-5先取負け。2回戦＝小坂凜空：2-6。

【組手評価】 組手はベスト4迄に、和道美濃が19人、聖心館が9人、誠空塾が5人と47名中の半分以上取っており、多治見教室の実力では2つ勝った大介が精一杯でした。

これからの基本練習は、前屈立ちの構えから刻み、逆突き、ワンツーを、号令に合わせて足の運びと同時何本も突いて、如何に相手との間合いを詰めて突けるかを繰り返し、後は実践で感を養う稽古を徹底して行います。

【総評】 全国切符は5人と一昨年の6名よりは少なかったけれど、形では糸東流の審判が少ない中でも、内容的には非常に惜しい人が多く、岐阜県で1番になったことは、指導者の適切は指導と本人の努力、家族のサポートのお陰ですので、今後も他に負けない様に頑張りましょう。



英介の形



利紅の形



康佑の形



健琉の形



結衣の形



優吾の形



楓の形



真一の形



歌音の形



大介の形



源太の形



陸豊の形



凜空の形



丈一朗の形



団体優勝チームのニーパイボ



多治見教室を形で岐阜県の1番にした入賞者

2. 岐阜県高体連インターハイ予選 5/11・12(土日) メモリアル剣道場
 来年の東京オリンピック空手道競技の形競技に向けて、WKFが形の判定を今までの赤青の旗判定から、7人の審判員による点数制の判定に変更したので、インターハイ予選も点数制で行われました。
 7名の審判が1列に並び判定(高得点2名と低得点2名を外した3名の得点を採用)し、土曜日の第1ラウンドの指定形で8名選び、日曜日の第2ラウンドの自由形で4名にして、決勝ラウンドで入賞者を決めるやり方でした。
 鼓は第1ラウンドはニーパイボで通過し、第2ラウンドはチャタンを打ちましたが、残念ながら決勝には残れませんでした。
 優勝は萩原選手で、拳真館の羽賀選手は決勝ではパープーレンで3位に入賞しました。
 多治見教室では中学生や高校生になると辞める人が多いけれど、鼓は1人で頑張っているの、子供達も大人になるまで続けて、生涯空手を目指して下さい。



鼓の第1ラウンドのニーパイボ



鼓の第2ラウンドチャタンヤラ